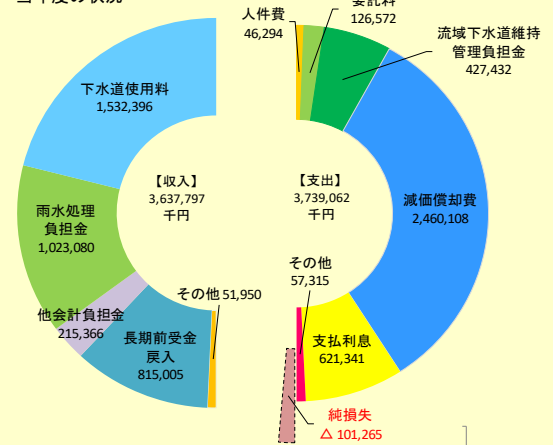


令和2年度 下水道事業会計決算の概要

令和2年度決算の状況は以下のとおりです。

【収益的収支の状況】

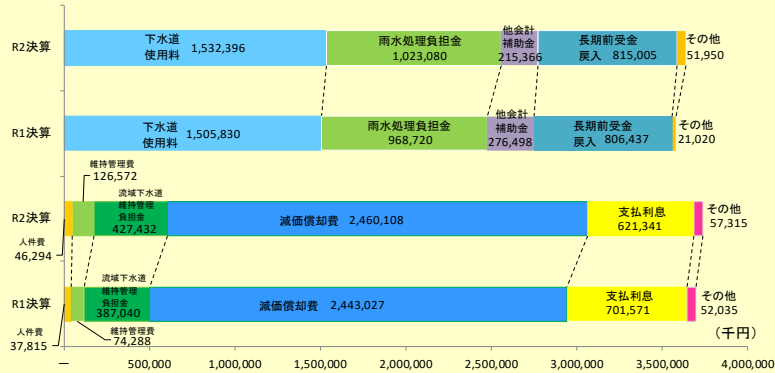
-当年度の状況-



令和2年度決算は、下水道事業収益は3,637,797千円、下水道事業費用については、3,739,062千円で、101,265千円の当年度純損失となりました。

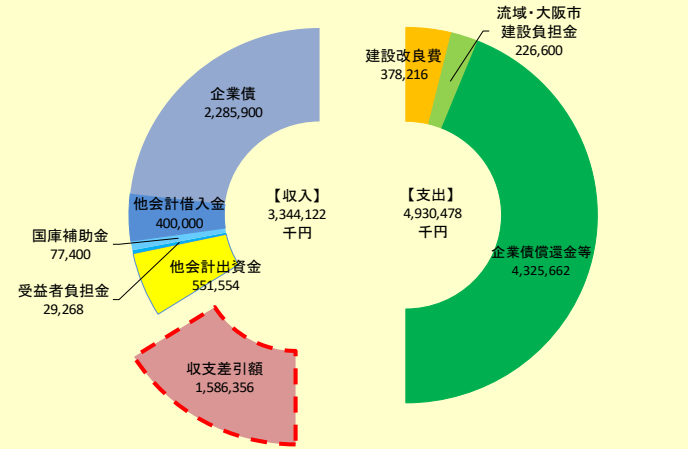
-前年度決算との比較-

下水道事業収益において、下水道使用料は、水酸化促進やコロナ禍における生活様式の変化に伴う水需要の増加による増収等があり、結果として59,292千円の増収となりました。下水道事業費用については、管渠費や流域下水道維持管理負担金等の増加の一方で、支払利息の減少により、結果として43,286千円の増収となりました。純増益としては、前年度より16,006千円改善しました。



【資本的収支の状況】

-当年度の状況-



令和2年度の建設改良費は378,216千円となりました。主な事業として、一津屋地区等の未普及地区及び新堂地区の土地区画整理事業に伴う污水管渠を整備、また別所地区の雨水管渠を整備しました。収入額と支出額の差である1,586,356千円の不足額は、損益勘定留保資金などで補てんいたしました。

(単位：千円、税抜)

収支区分	R2決算	R1決算	増減額	説明
下水道事業収益	3,637,797	3,578,505	59,292	
下水道使用料	1,532,396	1,505,830	26,566	コロナ禍における生活様式の変化に伴う水需要の増加等
雨水処理負担金	1,023,080	968,720	54,360	雨水関連事業費の増加に伴う負担金の増加
他会計補助金	215,366	276,498	△ 61,132	污水財政対策分にかかる事業の企業債利息の減少等
長期前受金戻入	815,005	806,437	8,568	
その他	51,950	21,020	30,930	ストックマネジメント事業に伴う国庫補助金の増加等
下水道事業費用	3,739,062	3,695,776	43,286	
人件費	46,294	37,815	8,479	正職員数1名増加による
委託料	126,572	74,288	52,284	ストックマネジメント事業費の増加、雨水関連事業の増加等
流域下水道維持管理負担金	427,432	387,040	40,392	運転管理委託更新による増加、修繕費の増加等
減価償却費	2,460,108	2,443,027	17,081	
支払利息	621,341	701,571	△ 80,230	高利率企業債の終了、元利均等償還に伴う後年度の企業債利息の減少等
その他	57,315	52,035	5,280	
純増益	△ 101,265	△ 117,271	16,006	

(単位：千円、税込)

収支区分	R2決算	R1決算	増減額	説明
資本的収入	3,344,122	3,664,335	△ 320,213	
企業債	2,285,900	2,329,200	△ 43,300	
他会計借入金	400,000	600,000	△ 200,000	水道事業からの長期借入金の減少
国庫補助金	77,400	100,000	△ 22,600	対象事業費の減少等
受益者負担金	29,268	30,353	△ 1,085	
他会計出資金	551,554	604,782	△ 53,228	污水財政対策分にかかる事業の企業債元金の減少等
資本的支出	4,930,478	4,816,863	113,615	
建設改良費	378,216	487,810	△ 109,594	工事請負費、委託料の減少等
流域・大阪市建設負担金	226,600	166,147	60,453	監視盛業設備更新工事費の増加等
企業債償還金等	4,325,662	4,162,906	162,756	元利均等償還に伴う後年度の元金増加等
収支差引額	△ 1,586,356	△ 1,152,528	△ 433,828	